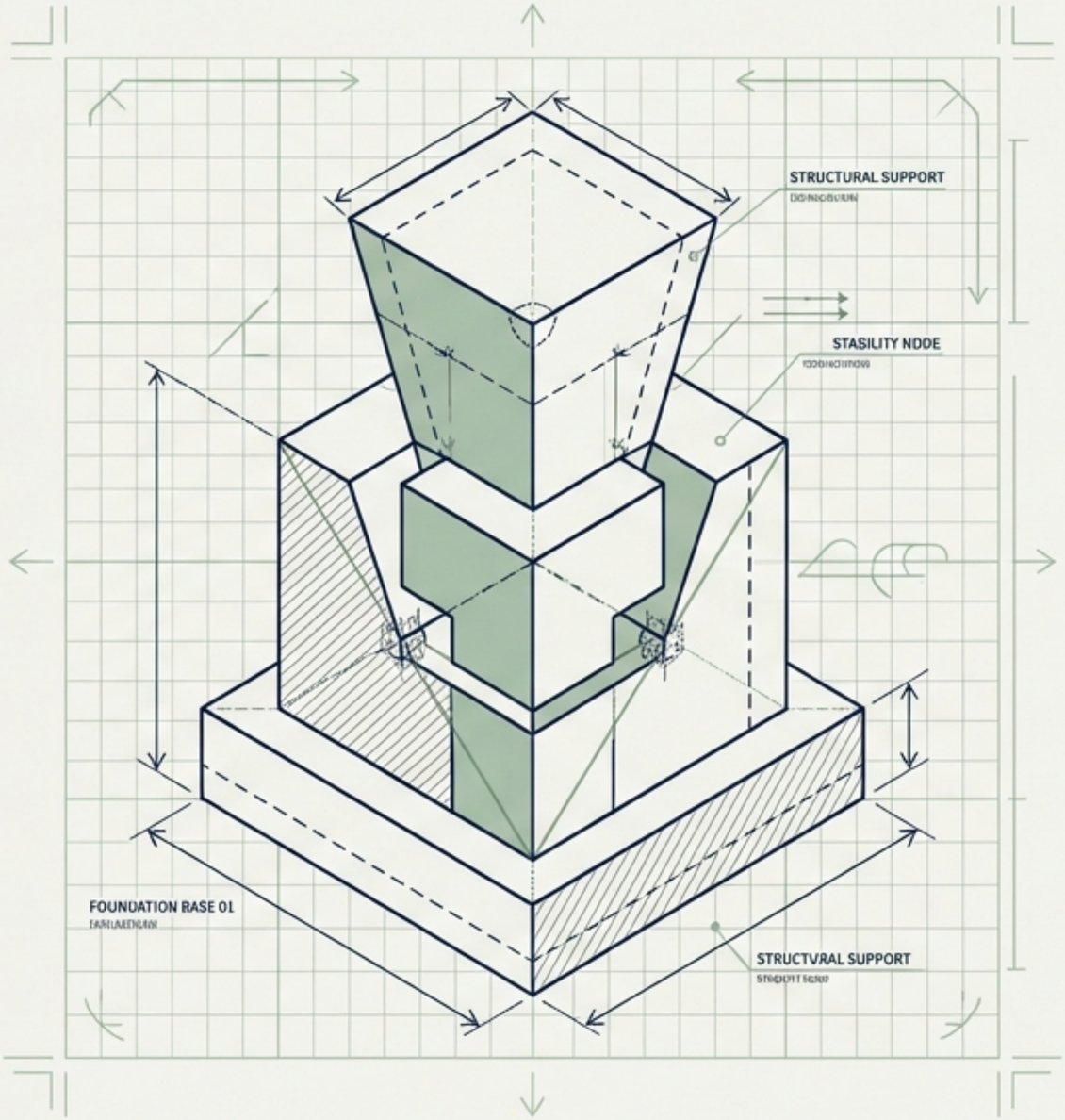
STRATEGIC PLAYBOOK FOR MANAGERS

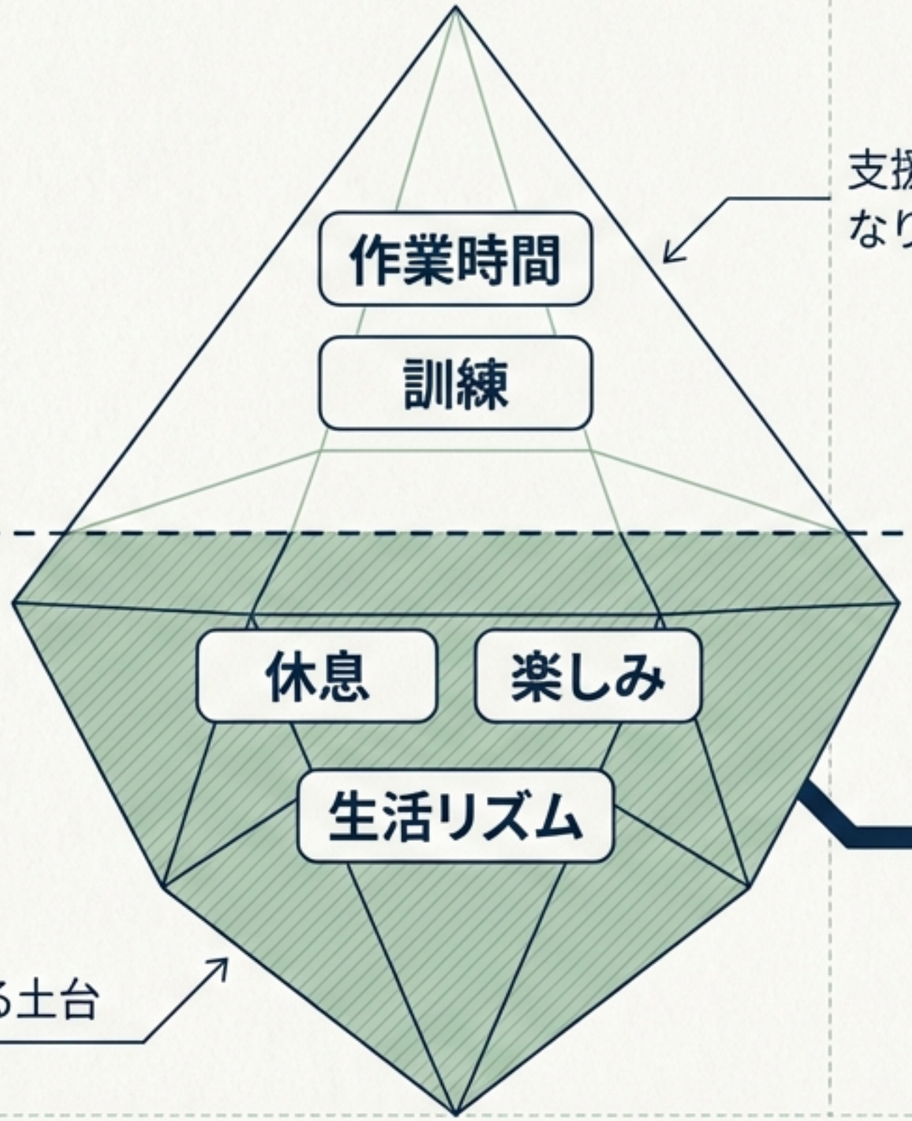
就労定着のカギは「余暇」にある

B型事業所における「回復」と「QOL」を高める余暇支援プログラム



NotebookLM

Editorial Structuralism



支援の焦点に
なりがち

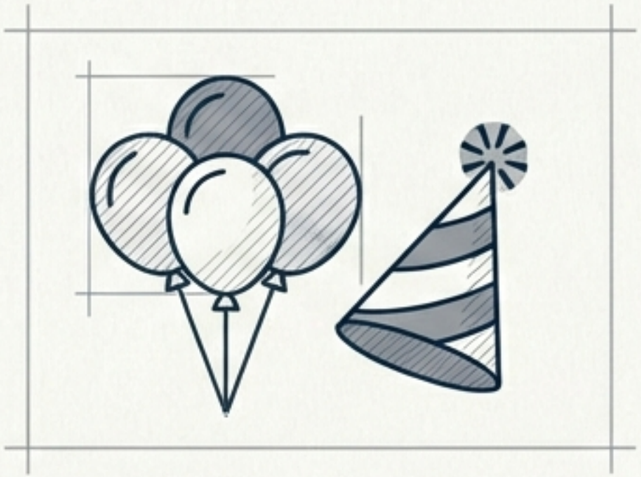
ユーザーの月曜欠席・不安定さの「真因」

「通所時間外」の過ごし方が崩れると、就労継続は困難になる。

週末の
生活リズムの乱れ
➡
月曜日の通所不調

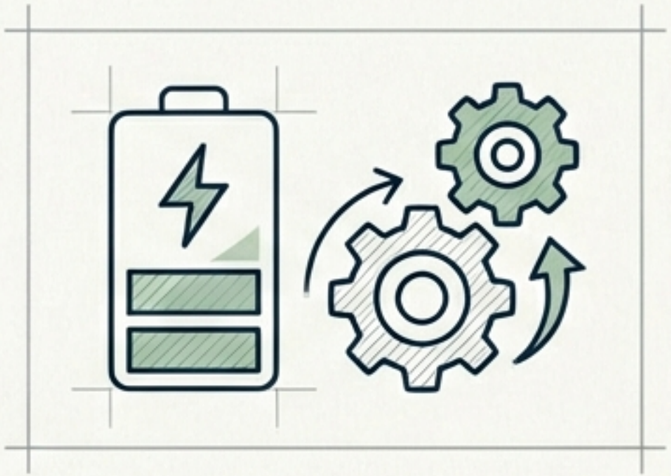
NotebookLM

概念の再定義：余暇支援≠お楽しみ



お楽しみ企画

「余計なもの」「オプション」



回復エンジニアリング

「働くための土台作り」

良い休息 → 回復力の向上 → 安定した就労

よく休み、よく楽しめる人ほど、長く働きやすい。

NotebookLM

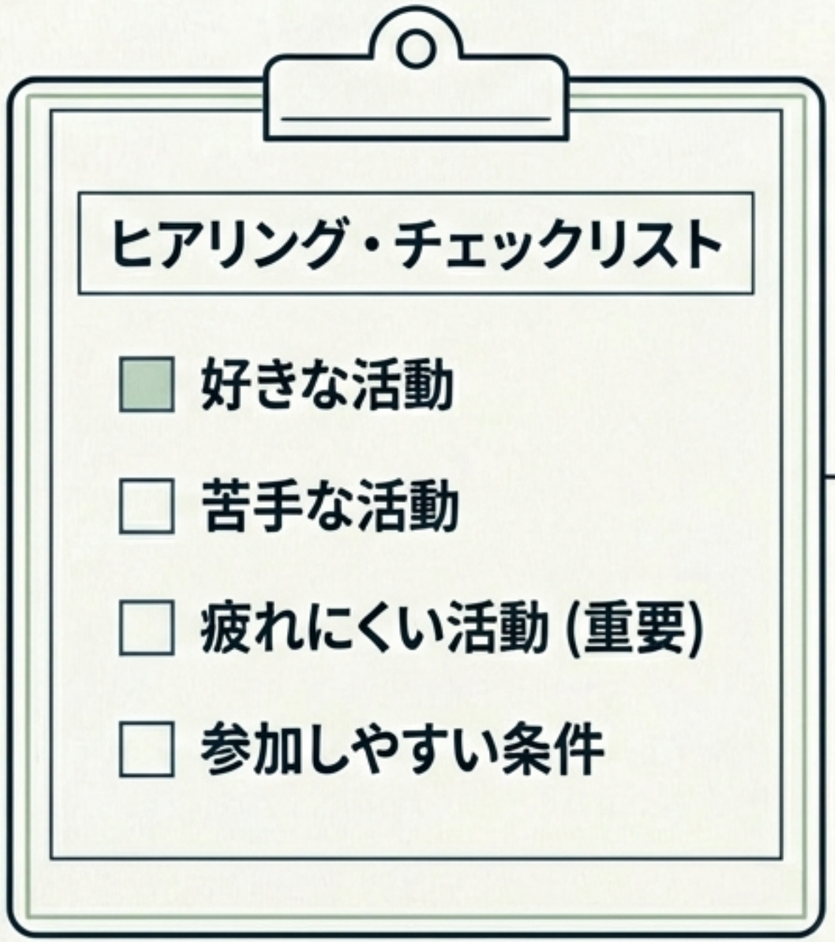
導入への5ステップ・ロードマップ

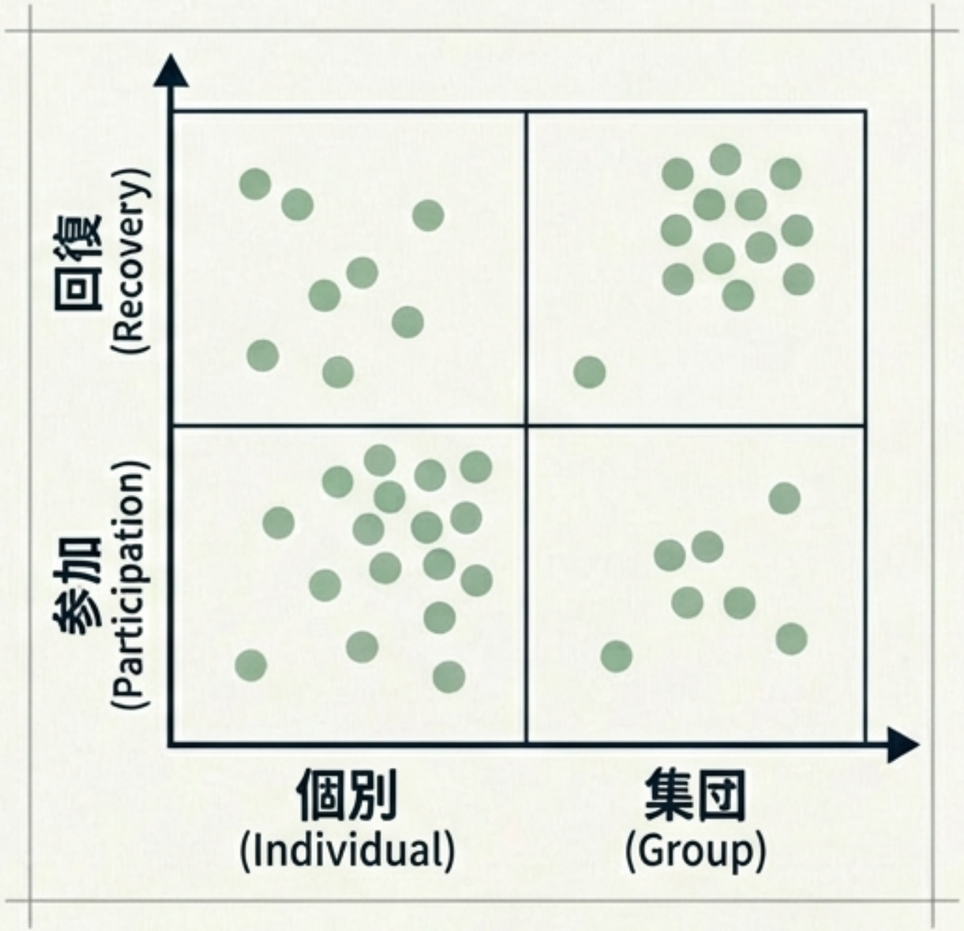


現場導入のための具体的フロー

NotebookLM

Step 1-2:「回復」につながる活動を設計する





NotebookLM

Step 3: 参加障壁を取り除く「3つの配慮」

金銭面

低コスト活動、
地域資源の活用。

移動手段

移動ログの確認、
同行援護の活用。

体調・心理面

スモールステップ
の導入。

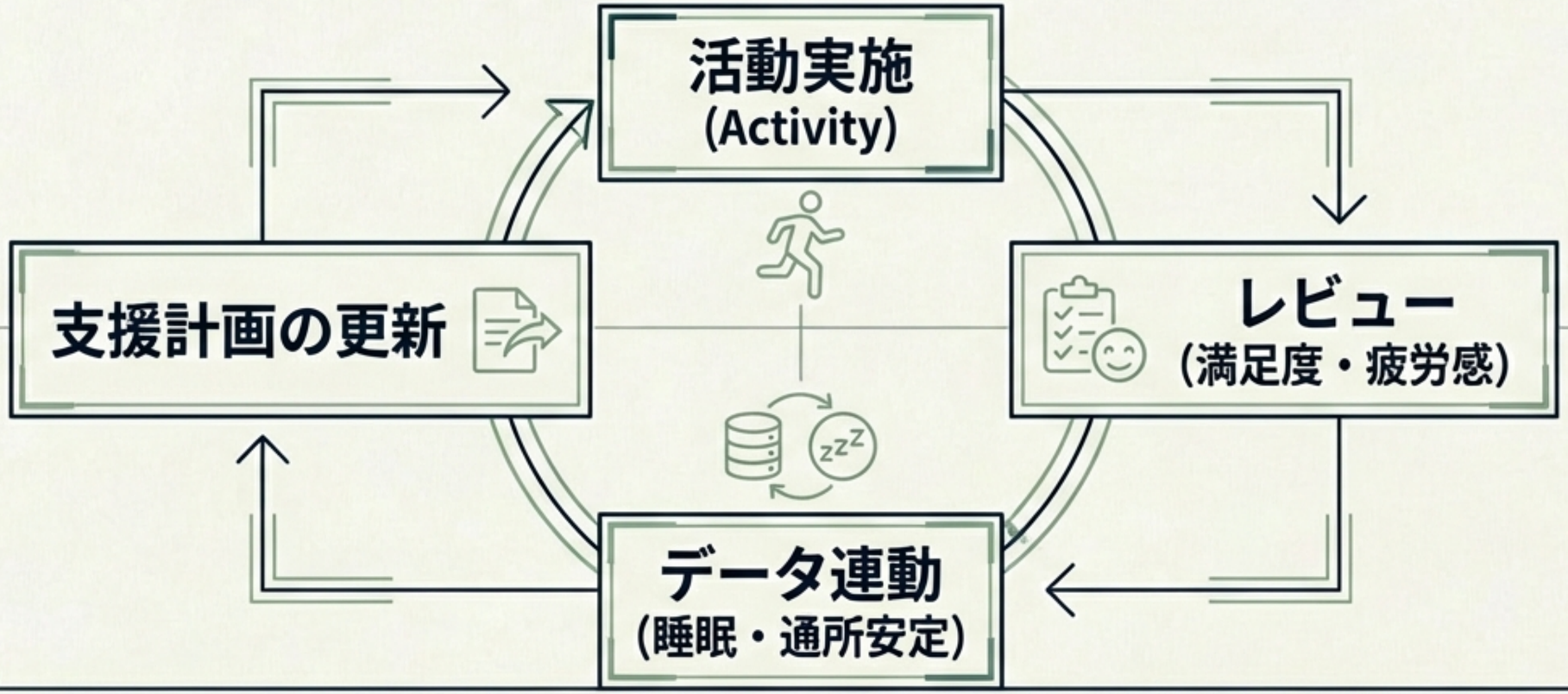
参加ハードルを下げるスモールステップ

- ☑ 途中参加 OK
- ☑ 短時間参加 OK
- ☑ 見学のみ OK

無理のない参加選択肢を用意する

NotebookLM

Step 4-5: 余暇データを通所支援に統合する



余暇支援前後の「通所安定」「睡眠」「気分変動」を確認し、支援計画を更新する。

NotebookLM

事例：T事業所における改善成果

課題（Before）

- 休日の過ごし方が不安定
- 月曜日の欠席が増加

余暇プラン導入

成果（After）

- 週初め欠席率が減少
- 通所意欲が向上

余暇を「就労継続の要素」として扱った結果

余暇支援所にを愈げる通所の改善を結果

NotebookLM

運用の見える化：マネジメントKPI

Management Dashboard

活動参加率

75%+

目標：設定活動への参加割合

満足度平均

4.0

目標：5段階評価 (Activity Score)

通所安定改善率



目標：前月比改善

計測頻度：月次（Monthly）

NotebookLM

よくある失敗と回避策

よくある失敗 (Pitfalls)	回避策 (Solutions)
全員同一活動 (Uniform Activity)	個別性の確保・選択制 (Choice System)
活動の詰め込みすぎ (Overloading)	回復時間の確保 (Secure Recovery)
効果を測らない (No Measurement)	継続的な簡易アンケート (Simple Surveys)

NotebookLM

Editorial Structuralism

サービス管理責任者向け：品質チェックリスト

Audit Checklist

- ☐ 余暇目標が計画に入っている
- ☐ 本人選択の機会が確保されている
- ☐ 活動実施記録がある
- ☐ 活動後レビューが実施されている
- ☐ 支援調整（金銭・移動等）が反映されている

NotebookLM

まとめ＆FAQ

余暇支援は、利用者さんの生活全体を整えるエンジンです。

FAQ

Q: 費用負担が難しい？
A: 地域資源や低コスト活動を活用

Q: 参加拒否？
A: 個別活動から段階的に導入

「OFF」の時間を支えることで、「ON」の就労を持続可能にする。

NotebookLM